



▲2011年ジャパンカップダート(G1)

世界に挑んだ 優駿たち

— Vol.18 —

▼2011年ドバイ・ワールドC(G1)

一時代を築いた砂の猛者

トランセンド

チャンピオンズカップの前身であるジャパンカップダートを2010、2011年に制したトランセンド。本レースを2回勝った馬にはカネヒキリ(2005、2008年)もいるが、連覇を果たしたのはトランセンドただ1頭である。

3歳の2月と遅めとなった、のちのダート王者のデビューは芝の新馬戦だった。このレースで2着に敗れると、出走取消を挟んで、ダートの未勝利戦へ。ここを快勝すると、続く500万下では後続を7馬身もちぎる圧巻の逃げ切り勝ちを収め、ダート適性の高さを見せつけた。それでもクラシックへの夢を断ち切れなかった陣営はトランセンドを京都新聞杯へ進ませたが、そこで見せ場なく9着に敗れたため、以降はダート路線に照準を絞った。すると、1000万下の麒麟山特別を8馬身差で圧勝し、この年から新設された重賞のレパードSに参戦。2番手から抜け出して、2着に3馬身差をつける強い勝ち方で重賞初勝利を飾った。

その後、しばらくは重賞勝ちから遠ざかるが、4歳となった2010年の東海Sと日本テレビ盃で連続2着してきっかけをつかむと、やはり新設重賞のみやこSを逃げ切って本格化を印象づけた。そして、余勢を駆って臨ん



だジャパンカップダート。スタートから敢然と逃げを主張し、直線へ向いても驚異的な粘りを見せるトランセンド。ゴール前でグロリアスノアに急襲されたが、それをクビ差しのいでついに初のGIタイトルを獲得した。

そして翌2011年、フェブラリーSで二つ目のGI勝利をあげると、予定どおりにドバイ・ワールドCへと遠征する。日本からヴィクトワールピサ、ブエナビスタとともに本レースに参戦したトランセンドは、ここでも自らのスタイルに徹して逃げを打ち、脚色は直線へ向いてもなお衰えなかったが、そこへ襲いかかったのがヴィクトワールピサ。2頭の激しい叩き合いが続いたが、半馬身差でヴィクトワールピサに軍配が上がった。それでもトランセンドのしぶとい逃げも大いに賞賛を受け、日本馬の歴史的なワンツー・フィニッシュは日本のファンを歓喜させ、同時に世界の競馬関係者を驚かせた。トランセンドは帰国後、マイルチャンピオンシップ南部杯とジャパンカップダートを制して、同年のJRA賞最優秀ダートホースに選出されている。

2012年に再びドバイ・ワールドCに参戦したものの、13着に敗れてしまったトランセンド。それでも前年に遠く中東でヴィクトワールピサと火花散る激闘を繰り広げ、2着に食い込んだあの雄姿を、ファンは決して忘れることはない。

全成績		中央18戦10勝		地方4戦0勝		海外2戦0勝	
年月日	場	レース名	距離	着順	タイム	騎手	
2009. 2.14	京都	メイクデビュー京都	1800	2	1:51.1	川田 将雅	
3. 1	阪神	3歳未勝利	1600	—	出走取消	安藤 勝己	
4.11	阪神	3歳未勝利	ダ1800	1	1:53.7	安藤 勝己	
4.25	京都	3歳500万円以下	ダ1800	1	1:49.7	安藤 勝己	
5. 9	京都	京都新聞杯(GⅡ)	2200	9	2:14.4	安藤 勝己	
7.26	新潟	麒麟山特別	ダ1800	1	R1:49.5	内田 博幸	
8.23	新潟	レパードS(新設重賞)	ダ1800	1	1:49.5	松岡 正海	
9.21	新潟	エルムS(GⅢ)	ダ1800	4	1:51.4	内田 博幸	
11. 7	東京	東京中日スポーツ杯武蔵野S(GⅢ)	ダ1600	6	1:35.9	松岡 正海	
2010. 2.13	京都	アルデバランS	ダ1900	1	R1:55.4	安藤 勝己	
4.25	京都	アンタレスS(GⅢ)	ダ1800	8	1:50.5	安藤 勝己	
5.23	京都	東海テレビ杯東海S(GⅡ)	ダ1900	2	1:55.4	藤田 伸二	
9.23	船橋	日本テレビ盃(JpnⅡ)	ダ1800	2	1:49.3	藤田 伸二	
11. 7	京都	みやこS(GⅢ)	ダ1800	1	1:49.8	藤田 伸二	
12. 5	阪神	ジャパンカップダート(GⅠ)	ダ1800	1	1:48.9	藤田 伸二	
2011. 2.20	東京	フェブラリーS(GⅠ)	ダ1600	1	1:36.4	藤田 伸二	
3.26	ドバイ	ドバイ・ワールドC(GⅠ)	全2000	2	—	藤田 伸二	
10.10	東京	マイルチャンピオンシップ南部杯(JpnⅠ)	ダ1600	1	1:34.8	藤田 伸二	
11. 3	大井	JBCクラシック(JpnⅠ)	ダ2000	2	2:02.3	藤田 伸二	
12. 4	阪神	ジャパンカップダート(GⅠ)	ダ1800	1	1:50.6	藤田 伸二	
2012. 2.19	東京	フェブラリーS(GⅠ)	ダ1600	7	1:36.6	藤田 伸二	
3.31	ドバイ	ドバイ・ワールドC(GⅠ)	全2000	13	—	藤田 伸二	
11. 5	川崎	JBCクラシック(JpnⅠ)	ダ2100	3	2:14.1	藤田 伸二	
12. 2	阪神	ジャパンカップダート(GⅠ)	ダ1800	16	1:51.8	藤田 伸二	
12.29	大井	東京大賞典(GⅠ)	ダ2000	7	2:08.2	藤田 伸二	

※レース名は当時の表記による

トランセンド 牡 鹿毛 2006年3月9日生

調教師：安田隆行 馬主：(有) ノースヒルズマネジメント → 前田幸治氏

父 ワイルドラッシュ 1994 鹿	Wild Again	Iccapade
		Bushel-n-Peck
	Rose Park	Plugged Nickle
母 シネマスコープ 1993 栗	トニービン	Hardship
		Kampala
	ブルーハワイ	Severn Bridge
		スリルショー
		サニースワップス